

第9回 武雄市短期経済観測調査（たけお短観）の結果について

下記のとおり「第9回武雄市短期経済観測調査（たけお短観）」を実施し、結果を取りまとめましたので、お知らせします。

【武雄市短期経済観測調査（たけお短観）結果】

平成24年3月調査

	調査数	前回調査		今回調査		
		A 現況 (H23. 12)	見通し (H24. 1-3)	B 現況 (H24. 3)	(B-A) 前回現況 との対比	見通し (H24. 4-6)
総 合	100	-40	-6	-40	±0	±0
農業	10	-57	-1	-50	+7	-12
建設業	11	-25	-38	-18	+7	+9
製造業	11	-40	-10	-45	-5	±0
卸売・小売業	25	-56	-28	-52	+4	+4
観光業	10	-40	+30	-56	-16	+22
飲食業	10	-30	+20	-20	+10	-10
サービス業	23	-31	-5	-34	-4	-9

結果のポイント

- ・ 総合景況感は、依然としてDI値マイナス（40）である。
- ・ 前回12月調査値（-40）と比べると±0となり、景況感は変わらない。

- 調査目的 本市の経済動向をよりの確に把握するため
- 調査対象 武雄市内事業所 100箇所（業種別内訳は上表参照）
- 調査時期 年4回（3月、6月、9月、12月）
- 調査方法 電話による聴き取り
- 調査内容
 - （1）現在の景況感：良い、普通、悪いのいずれかを回答
 - （2）3ヵ月後の見通し：良くなる、変わらない、悪くなるのいずれかを回答
- 集計方法
 - （1）現在の景況感（2）3ヵ月後の見通しについて、それぞれ回答数の構成比を求めた上で「良い（良くなる）」の構成比から「悪い」「悪くなる」の構成比を引いて「現況DI」、「見通しDI」として指標化しました。
 - 例えば、現在の景況感の「良い」が10%、「普通」が40%、「悪い」が50%の場合は、-40となります。
 - 「DI」（Defusion Index、デフュージョン・インデックス）は、企業や業界の景況感などを数値化した指標のことで、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」（日銀短観）などで用いられています。

武雄市営業部商工流通課

〒843-8639 武雄市武雄町大字昭和1番地1
 TEL : 0954-23-9183 FAX : 0954-23-7102
 E-MAIL: syoukour@city.takeo.lg.jp